

2023-24 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1536 回 (3)

会 長 瀬 尾 義 裕 幹 事 黒 木 成 光

クラブ会長テーマ



「次世代に希望を繋ごう！～手を取り合って～」

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 2023 年 7 月 18 日 (火) 19:00 ~ |
| 場 所 | 福山ニューキャッスルホテル |
| 例会行事 | 点 鐘 ・ ソング 「 それでこそロータリー 」 ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告 |
| その他情報 | メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告 |



【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

《 クラブフォーラム（五大奉仕） 》

【奉仕プロジェクト委員長・・・鹿内 要秀】

皆様こんばんは、本日の例会はクラブフォーラムになります。各委員長から五大奉仕について、そして本年度の活動についての説明がございますので活発なご意見を宜しくお願い致します。

【職業奉仕委員長・・・尾熊 孝典】

活動方針

「ロータリーの根幹は職業奉仕にある」という言葉をよく聞きますが、一方では、「職業奉仕は難しい」「職業奉仕はわかりにくい」と言われています。そこで今年度は、少しでも多くの方が興味を持って参加してもらえるような行事を実施し、職業奉仕について楽しく勉強してもらおうと思っています。

職場例会について

例年会員企業で主に開催していた職場例会を、3月に実施したアンケート結果を踏まえ、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・親睦活動の4委員会が共同で、広島空港側の八天堂ビレッジ他で開催します。参加者は会員、家族、外国人留学生（国際奉仕委員会支援）のMAX50人を予定しています。

開催日 2024年4月28日（日）・・・例会変更

例会場所 八天堂ビレッジ（工場見学&パン作り体験）、広島県防災航空センター（防災ヘリ他の見学）、広島県動物擁護センター（センターの見学）

予定人数 大人40人、子ども10人

スケジュール等 当日のスケジュール他詳細は、4委員会の後日検討予定です。

会員事業所訪問について

会員、会員企業の社員さんが訪問し見学したいと希望する事業所（会員事業所以外を含む）を訪問、見学したいと思っています。

【社会奉仕委員長・・・竹中 雅彦】

本日は五大奉仕についてのクラブフォーラムです。今回、ロータリーについて新入会員の皆様に説明するよい機会ですので少し社会奉仕以外のものを含めて述べさせていただきます。

以下は私のロータリーに対する考え方です。

（問）ロータリーとは何ですかと問われたらどう答えますか。

世界的な奉仕団体です。

皆様の役に立ちたいと思う人の集まりです。

（問）日本に約3300の奉仕団体がありますが皆同じですか。ロータリークラブはどこが違うのですか。

ロータリアンは奉仕の理念に基づき奉仕活動を通じて自分を内面から成長させようと活動しています。自分の成長のために奉仕活動をさせていただくのです。

五大奉仕事業について

五大奉仕とはロータリークラブ活動の哲学のおよび実践的な規律です。

ロータリークラブの奉仕部門は全てのロータリークラブの活動指針となりますが以前は四大奉仕でした。2010年に青少年の未来を支えようという機運の高まりから青少年奉仕部門が新たに加わり五大奉仕となりました。五大奉仕はロータリークラブの奉仕活動を支える根幹となりますが、全て奉仕の理念に基づき活動を行うものです。ロータリークラブの奉仕部門は5つの奉仕部門に分かれ序列が存在します。この序列は、席順や発表順などにも適応され順守されなければなりません。

1 クラブ奉仕 2 職業奉仕 3 社会奉仕 4 国際奉仕 5 青少年奉仕

まずロータリークラブの社会奉仕について説明する前に、ロータリーの創立とその背景から説明しないと理解できないと思いますから最初にそこから述べていきます。

歴史的背景

- ① 19世紀末アメリカ社会は変動期であらゆる人種、宗教、信条、文化が混沌とした状態であった。
- ② 20世紀初頭のシカゴはアルカポネに代表されるギャング社会の中心地で犯罪、汚職、暴力の巢窟で利己主義、悪徳商法が横行していた。
- ③ 弁護士のポールハリスは公正な取引には「人間の絆」が重要と考えた。
- ④ 商取引の相互扶助、公正で安全な取引を行いたい。
- ⑤ 信用がある相手と取引をしたい。
- ⑥ 一業種一人の相互扶助のクラブの構想が芽生える。
- ⑦ クラブ内では会員同士のトラブルをなくするために1業種一人（クラブ内に競争相手を作らない）こととした。
- ⑧ 会員同士のトラブル防止策として「寛容で親睦と友情の精神」にあふれた人でなければならないと規定した。これが相互扶助、親睦の概念である。

このような背景から1905年2月23日にシカゴロータリークラブがポールハリス他3名で創立された。翌年に定款と細則が採択されたがクラブの目的は会員の事業上の利益の促進、社交クラブ的な内容で親睦的な要素の促進であった。

このようなロータリークラブの目的から奉仕活動の概念が芽生えたのはドナルド・カーターによる利益を社会に還元しようという提言であり1907年にシカゴで公衆トイレを設置した。これがロータリーの社会奉仕事業の第1歩となりました。その後1910年にRIが創立され1914年に第1次世界大戦が勃発した際に国際奉仕が芽生え1927年にR財団が設立された。ロータリーの変遷の中で最も重要な事項は決議23-34（1923年第14回RI国際大会・セントルイス規定審議会）でありロータリー理念が確立し、決議23-34がロータリーの社会奉仕理念の源流となっている。セントルイス大会で決議された決議23-34はその後いくつかの項目について部分的に改正され、そのタイトルも「社会奉仕に関するロータリーの方針」として改正され現在に至っている。

社会奉仕に関する声明（1992年第83回RI国際大会。オランダ決議92-286）

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を適用することである。奉仕の理念の実現を図るに当たってロータリークラブの開発した各種活動が会員の奉仕活動に意義ある機会を与えてきた。ロータリアンの指針として、また社会奉仕活動に関するロータリーの方針を明確にするために、次の原則が認められている。

社会奉仕はロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、各ロータリアンとロータリークラブにとって献身に値する

ことであり社会的責務である。

まとめると社会奉仕とは光の当たらない人たちに光を当てる弱者救済活動である。一般社会から注目されない弱者への支援事業である。

ロータリアンの哲学として奉仕の理念（以前は奉仕の理想）がある。ロータリアンは常に個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を適用することである。

奉仕の理念（理想）

己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を続けさせてもらった社会に感謝するとき、奉仕の基本として個人生活、社会生活、職業生活において利己的要求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けていこうとするロータリーの奉仕哲学である、

第一標語：「超我の奉仕」＝最小利己最大利他の追求

第二標語：「最もよく奉仕するも者、最も多く報いられる」シェルドン

本年度の社会奉仕事業のメイン事業は女子少年院への図書寄贈です。少年院は犯罪者が収容される施設と誤解されていますが教育機関であり矯正機関です。

一般社会から隔絶された地で数か月から数年を過ごしています。しかし収容されている人たちは10代の若者です。将来に希望や生きがいを見出させるように手助けをしたいのです。特に女子少年院に収容されている女子は男子少年院と違い精神面を支えてあげないと自立が難しいのです。詳しい内容は9月に卓話に来られる所長さんと統括責任者から聞いていただきたいと思います。

他の事業は活動計画書を参考としてください。

【国際奉仕委員長・・・梶原 啓子】

コロナ禍では海外での奉仕活動ができなかったため、今年度は次年度への足掛かりになればとカンボジアへの奉仕活動を念頭に模索をしていこうと思っております。そのための卓話も企画しています。

外国人留学生への支援は、9月、1月に募金とお中元やお歳暮の頂き物から1品を提供いただきたいと思います。6月は募金のみのご協力をお願いいたします。お願いばかりで申し訳ございません。留学生スピーチコンテストは2月18日（日）に開催されます。その後出演者の卓話も予定しております。

職業奉仕委員会の活動に留学生を招待して企業訪問も予定しております。ロータリー国際大会inシンガポールへの参加も企画しています。一人でも多くの皆様の参加をお願いいたします。その時にできればカンボジアの奉仕先のめどをつけたいと思っております。

お願いばかりになりますのご協力の程よろしくお願いいたします。

【ロータリー財団/米山委員長・・・塩川 裕樹】

今年度、ロータリー財団・米山記念奨学会委員会は私と副委員長の宇田さんの2名で担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

ロータリー財団、米山奨学会は私達ロータリアンや支援者による善意の寄付のみで成り立っています。今年度は現在の一人一人の寄付状況を整理し書面で案内させていただきます。その際にロータリー財団のポールハリスフェロー・米山記念奨学会の米山功労者にあともう少して達成できる旨のご案内もさせていただきます。

特に入会して間もない方には、寄付金の流れや使用用途等を丁寧に説明させていただきます。これらの内容を踏まえて今年度の寄付金額について検討をして頂きたいと思っております。

また、10月の米山月間に米山記念奨学会の卓話を尾道RCの米山奨学生にお願いしましたが日程調整が出来ませんでした。このため10月17日は昨年と同じ米山奨学生で台湾出身の林孟甫（リンモウフ）

さんに卓話をお願いしました。

11月の財団月間には、1月15日に開催されたロータリー財団勉強会の内容が大変分かりやすく良かったので私が担当し説明させて頂きます。そして出来れば理事・役員の方にはロータリーカードを作ってポリオ根絶に貢献して頂きたいと思います。

最後にロータリー財団・米山記念奨学会委員会に寄付をしてロータリー活動を楽しみましょう。
一年間、どうぞよろしくお願い致します。

【青少年奉仕委員長・・・能登 伸一】

○ 方針に込めた想い

会長テーマ「次世代に希望を繋ごう！」 次世代＝若い人たち

○ 実施計画

- ・吹奏楽祭り＝どんなきっかけで始まったことか正確には知らないけど長年にわたって中学生が福山西 RC 会長賞を目指して日々練習をしていると思うととても誇らしい。若い人が楽器を演奏して人々を感動させることが何と素晴らしいことか、スマホいじってる場合じゃないと多くの中学生に言いたい。
- ・障がい者支援＝きっかけは私が会長を務めた時の「ロータリー奉仕デー」 鞆の浦 RC さんと同友会さんで行った支援学校の企業訪問。物的支援は今年 11 月に地区補助金を活用してタブレット贈呈で最後にしようと思っています。今後はあの子たちに就職先に選択肢を一つでも増えることを期待しています。それは職場実習受け入れによって仕事の内容がわかることだけでもいいと思っています。
- ・福山シティーフットボールクラブさんの卓話＝今年度初めての企画、藤井英勝さんの提案です。福山地元のプロサッカーチームを応援しようというもの。まずは皆さんに知って頂くことをします。
- ・RYLA＝今年は 2 泊 3 日の計画です。江田島青少年の家で行います。青少奉仕委員長として参加しますが地区が考えることと福山西 RC の青少年奉仕活動とあまりにもギャップが大きいと感じています。地区はローターアクト、インターアクトのこと私たちは広く若者に寄り添う活動です。

○ その他

福山北特別支援学校との関係において逆に協力して頂くこと

- 1 社会奉仕委員会の事業貴船原少女苑へ図書寄贈
- 2 資源回収へ協力要請

○ 協議事項

- ・ 支援学校生徒の職場実習受け入れをメンバーにお聞きすること
- ・ RYLA に青少年奉仕委員長は参加すべきかどうか

【クラブ管理運営委員長・・・古井 正則】

本日は「五大奉仕」のフォーラムです。ロータリークラブにおける「五大奉仕」は、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕と並んで「クラブ奉仕」の五つで構成されますが、そのうち「クラブ奉仕」の担当部門として「クラブ管理運営委員会」があり、福山西ロータリークラブにおいてはその傘下に会員増強委員会・ロータリー情報委員会・親睦委員会・広報委員会・例会委員会の5つの委員会が所属する構成となっております。

さて、先に瀬尾会長から委員会構成の表示についてのご指摘がありました。が、「クラブ奉仕」以外の5大奉仕関連委員会が所属する「奉仕プロジェクト委員会」が「スマイル」及び「チャリティ関連益金」等をその活動源泉とするのに対し、「クラブ管理運営委員会」所属の各委員会についてはその活動源泉はすべて「クラブ会費」から賄われており、原則的に各々の予算的な源泉が混在することはありません。この辺りが活動報告書内の委員会構成の表示に表れているのかなと思います。

すなわち、「五大奉仕」に係る職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕については皆さまからスマイル等として提供された「善意の寄付金」をベースにその活動がなされ、ロータリークラブとしての奉仕活動の根幹を形成します。そして、「クラブ奉仕」とは、『手続要覧 2022』では「奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである」と表記されており、古井の私見にはなりますが、前述の奉仕活動を充実させるべくその基盤であるクラブそのものを活性化させ、その機能を充実させるための存在ではないかと思えます。クラブの活性化のために、仲間となる会員を増やしましょう（会員増強委員会）、ロータリークラブについてもっとよく知りましょう（ロータリー情報委員会）、クラブの皆ともしっかり仲良くなりましょう（親睦委員会）、クラブの活動をクラブ内で共有しかつ対外的にも伝えましょう（広報委員会）、例会出席はロータリアンの義務の一つですのでその例会そのものを充実させていきましょう（例会委員会）、これらが「クラブ奉仕」の内容になるということなのではないでしょうか。

なお、「クラブ奉仕」の具体的内容につきましては傘下の5つの各委員会の活動内容に拠ることとなりますので、このあとの各委員会からご報告をご参照ください。

【会員増強委員長・・・河村 直孝】

福山西ロータリークラブの現在の会員数は、36名です。

当クラブの一番の重点課題が会員増強だと会長をはじめ多くの方から声を掛けられ、非常にプレッシャーを感じています。又、昨年度は多くの女性会員さんが入会され会が段々と華やかになってきました。この勢いを引き継いでいきたいと思っています。

今年度は、小林副委員長と吉山委員と協力してオブザーバー参加を増やし増強に繋がる活動をしていきます。皆さんもいいなと思う会員候補の方がいたら教えてください。

新しく候補者リストを作って接触できる機会を作りたいと思います。

皆様の協力をよろしくお願い致します。

【親睦委員長・・・佐藤 教夫】

本年度は、特に、この数年の間は親睦旅行が出来ませんでしたので、一泊旅行を計画致しました。私自身がお城好きという事もあり、四国へ渡り、大洲城、湯築城、村上水軍博物館など盛り沢山の内容になっております。特に松山といえば松山城が一般的ですが、湯築城へはあまり行かれる事は無いのではと思いますので、ぜひご家族お誘い合せの上、参加をお願いします。

その他、活動計画書にも有ります様に、会員とご家族の親睦を深める沢山の行事を予定していますので、一年間どうぞよろしくお願い致します。

【広報委員長・・・石川 真吾】

ロータリーに関する活動情報また、我クラブの奉仕活動を、会員だけでなく、地域社会の方々へも情報提供することで、ロータリーへの理解を深めていただき、公共イメージの向上に繋がるように努めたいと考えます。

・クラブホームページの更新

- 奉仕活動を関連員会と連携して、メディアへの発信
- 毎回の、例会情報の発信
- クラブ資料の保管と管理をおこなう。

会員のみなさまのご協力をお願いします。

原稿の提出は、木曜日までにはお願いいたします。

【例会委員長・・・北 治郎】

先週の第1回例会で、お知らせしましたように本年度はボードに出席率を記載し例会場に掲示することと致しました。(100%出席の報告とお祝いは従来通り行います)

このことにより生じた時間を有効に使い、瀬尾会長のご要望でもあります、会員による5分間スピーチを行いたいと思っております。

ご理解とご協力を、よろしくお願い致します。

【その他報告】

《各種表彰等》

【誕生日】



《7月22日生まれ》鹿内 要秀 さん